

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【令和3年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称	長く住み続ける高品質住宅		
グループの名称	長く住み続ける住宅を建てやすい会		
令和2年度採択グループ番号	09-0280-0257		
グループ代表者	木村 利明	代表者承認	○
グループ事務局 事業者	株式会社中央グループ		
事務局 担当者	玉木 友香		

※ 令和3年度地域型住宅グリーン化事業に関する「募集要領」を熟読し本事業に関連するルールについて順守頂きます。

※ 本年度事業実施中に、失効した件数が一定数(原則3件)に達したグループや評価事務局・実施支援室等の指摘・問合せ等に対し著しく不備であると判断された場合、令和3年度地域型住宅グリーン化事業で使用する事務局申請ツールの利用を停止する事があります。

グループ基本情報・事務局体制

1.グループの基本情報の確認

1. グループの名称(必須)	長く住み続ける住宅を建てやすい会		
2. グループ受付番号			
3. 結成年(必須)	2013 年		

2.事務局体制

グループ代表	1. 氏名(必須)	木村 利明	氏名(よみ)	きむら としあき
	2. 所属先(必須)	株式会社中央グループ		
	3. 所在地(必須)	新潟県新潟市中央区美咲町1-4-15		
	4. 電話番号(必須)	025-288-0966		
	11. 担当者E-mail(必須)	keiri@chuo-g.jp		
グループ事務局	5. 事業者名(必須)	株式会社中央グループ		
	6. 担当者名(必須)	玉木 友香	氏名(よみ)	たまき ゆか
	7. 郵便番号(必須)	950-0954		
	8. 所在地(必須)	新潟県新潟市中央区美咲町1-4-15		
	9. 電話番号(必須)	025-288-0966		
	10. FAX番号(必須)	025-288-0976		
	11. 担当者E-mail(必須)	shinsei-support@chuo-g.jp		

<地域型住宅の生産体制>	
グループ構成・使用する地域材・要望戸数	グループ名称 長く住み続ける住宅を建てやすい会

3.グループの構成

構成員	構成員数	構成員に含まない理由
I. 原木供給	30	原木供給が海外事業者であるため
II. 製材・集成材製造・合板製造	44	製材・集成材製造・合板製造が海外事業者であるため
III. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	39	
IV. プレカット	46	
V. 設計	58	
VI. 施工	77	
VII. 木材を扱わない流通	2	
IX. I～VIII以外の業種	1	

4.使用する地域材

使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称		地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下の1、2、3、4の番号を番号記入欄に表記。	番号	国内・国外
	■	合法木材証明制度を利用する	国産材	1. 都道府県の産地認証制度等によるもの 2. 民間の第三者機関による認証制度 (FSC、PEFC、SGEC等) 3. 林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン (H18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4. クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品 (合法伐採木材等証明)	3	国内
	■	合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
		PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■	PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	■	SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■	FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
		FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	■	FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
		クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
		クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外

5.令和3年10月31日迄に交付申請が確実にできる戸数

新築住宅	1. 長寿命型(長期優良住宅)	(ア) 経験工務店	100 戸	
		(イ) 未経験工務店	60 戸	
	2. ゼロ・エネルギー住宅型	(ア) 経験工務店	30 戸	
		(イ) 未経験工務店	40 戸	
	3. 高度省エネ型(認定低炭素住宅・性能向上認定)	経験工務店・未経験工務店の別なし		80 戸
	省エネ性能強化加算(長寿命型のみ)		120 戸	
	地域材加算		100 戸	
	若者・子育て世帯加算		120 戸	
	三世帯同居加算		15 戸	
4. 省エネ改修型			0 戸	
5. 優良建築物		棟	0.0 ㎡	

※ H27～R2年度までのグリーン化事業活用戸数 (ア)経験工務店 4戸以上 (イ)未経験工務店 4戸未満

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み> (長寿命型・ゼロ・エネルギー住宅型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通)

様式3-1

グループ名称	長く住み続ける住宅を建てやすい会			
R2採択グループ番号	09	-	0280	- 0257

(1) 事務局体制の確認

(1)-1 :グループ事務局の体制

選択項目	
☒	専任の担当者を配置している
☒	事務局担当者が複数人いる
☒	事務局担当者には常に連絡が取れる
☐	外部の業者に部分的に業務委託をしている 業者名
☐	外部の業者に全ての業務を委託している 業者名
☐	事務局担当者が複数のグループを担当している

(1)-2 :グループのサポート体制

選択項目	
☒	基本的に施工事業者が全て行い、交付申請等補助申請のみ対応
☒	設計申請等のサポートが出来る体制になっている
☐	施工に関するサポートが出来る体制になっている
☒	維持管理に関するサポートが出来る体制になっている
☒	地域型住宅の営業提案に関するサポートが出来る体制になっている
☒	その他、グループ特有のサポート体制がある 内容 施工検査が出来る体制になっている。

(1)-3 :グループ内の情報共有の方法

選択項目	
☒	グループ内でR3年度事業説明会を実施する
☐	SNS等の情報共有ツールを使った情報公開・共有
☒	メール・メーリングリストを使った情報発信
☒	ホームページ等Webを使った情報共有・発信(会員専用ページなど)
☒	TEL・FAXを使った情報共有・発信
☒	その他 内容 毎年全国で説明会を開催していましたが、今年度はZOOM説明会を開催しました。また、説明会のアーカイブ動画を構成員に発信しいつでも視聴できるように実施しました。

(1)-4 :所属工務店の廃業等があった際の対応について

選択項目	
☐	指定ルールに基づいて積立を行っており廃業があった際の検査費用として活用し維持管理を引き継ぐ工務店を紹介する。
☒	グループ事務局で維持管理を引き継ぐ工務店を紹介
☐	グループ事務局にて維持管理を代行
☐	グループ事務局が住まい手と相談し住まい手の意向に合わせる
☐	第三者機関に維持管理業務を任せるため問題なし
☐	グループ事務局として対応しない
☐	その他 内容

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み> (長寿命型・ゼロ・エネルギー住宅型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通)

様式3-2

グループ名称	長く住み続ける住宅を建てやすい会			
R2採択グループ番号	09	-	0280	- 0257

(2) 地域型住宅の仕様、品質に関する取組み

(2)-1 :主要構造部(柱・梁・桁・土台)における地域材の推奨する割合

選択項目					
☒	50%未満	☐	50%以上	☐	80%以上

(2)-2 :グループの住宅性能の向上や第三者による評価に関する取組み

選択項目					
☒	設計性能評価書を取得している	☒	ZEHに取り組んでいる		
☒	建設性能評価書を取得している	☒	BELSに取り組んでいる		
☒	耐震等級3を取得している	☒	低炭素住宅の認定を取得している		
☒	ゼロ・エネルギー住宅でも長期優良住宅の認定を取得している				
☒	その他 内容	長期優良住宅の場合、耐震性は許容応力度計算によって耐震等級2以上を確保します。			

(2)-3 :省エネ改修型の仕様・施工品質に関する取組み

選択項目		
☐	推奨仕様 内容	
☒	その他 内容	第三者の既存住宅現状調査技術者によるインスペクションを実施し、改修内容の住宅履歴情報を残します。

(2)-4 :地域型住宅の生産体制に関する取組み

選択項目			
☐	地域型住宅で使用する材の寸法規格化	☐	使用する地域材の在庫把握の仕組み
☐	地域型住宅の施工に関する統一基準がある。(一部箇所も含む)	☐	指定(推奨)の建材・住宅設備機器等の活用による在庫情報の共有
☐	地域型住宅の信頼性確保に向けた検査ルールがある	☐	地域型住宅としてのグループ独自の証明証の発行
☐	地域型住宅の積算・見積りに関する統一したルールがある	☐	完成保証・地盤補償等の各種保険の添付(瑕疵担保責任保険は除く)
☒	その他 内容	対象住宅の施工情報が【設計図書＝施工図＝竣工図】となるよう、自社若しくは第三者による施工検査の実施を推奨します。	

(3) 地域型住宅の維持管理に関する取組み

(3)-1 :住宅履歴情報の管理・活用について

選択項目			
☐	住宅履歴情報は施主が保管管理を行う	☐	住宅履歴情報はグループ事務局で一括して保管管理を行う
☐	住宅履歴情報は施工工務店で保管管理を行う(施工工務店任せ)	☐	グループで指定する住宅履歴情報サービス機関で保管管理する
☒	その他 内容	維持保全計画書もしくはメンテナンススケジュールの提出を義務化し、事務局で保存します。施工店は計画書に基づいた点検を行うルールにしています。	

(3)-2 :維持管理の実施に関する取組みについて

選択項目			
☐	グループ共通の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う	☐	グループとして外部の機関と提携(契約)して維持管理を実施
☒	各社個別の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う	☐	維持管理の実施に関しては施工工務店任せ
☒	その他 内容	施工店より委託があれば、点検サポートを事務局が行う。	

(3)-3 :グループ事務局で維持管理の対応について

選択項目	
☒	グループ事務局が施工業者に連絡して維持管理・点検を行う
☐	維持管理の実施に対してグループ事務局にて報告を受け管理する
☐	維持管理の実施に関してグループ事務局では関与しない

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み> (長寿命型・ゼロ・エネルギー住宅型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通)

様式3-3

グループ名称	長く住み続ける住宅を建てやすい会			
R2採択グループ番号	09	-	0280	- 0257

(4) グループのサポート体制

(4)-1 :グループで実施、参加する研修会・講習会

選択項目			
☒	補助交付申請、実績報告等の補助事業に関連する説明会	☒	省エネ改修に関連した研修会
☒	地域型住宅の認定・評価書取得等の設計技術・知識に関する研修会	☒	改正省エネルギーに関連した研修会
☒	地域型住宅に関連した施工技術・知識に関する研修会	☒	顧客提案等の営業手法等に関する研修会
☒	地域型住宅の維持管理に関連した研修会	☒	工務店経営に関連した研修会(人材育成・働き方改革・民法改正等)
☐	住宅性の評価・表示協会が開催する講習会への参加	☐	CCUS(建設キャリアアップシステム)に関連した研修会
☐	住宅金融支援機構が開催する仕様書説明会への参加	☐	事業者向け現場見学会
☒	その他 内容	今年度も新型コロナウイルスの影響で各種説明会の開催が難しい為、積極的にZOOMを使用しての説明会等を行っていきます。	

(4)-2 :グループ(事務局)の未経験工務店の割合

選択項目			
☐	未経験工務店は所属していない	☒	未経験工務店が1/3以上
☐	未経験工務店の所属が1/3未満	☐	未経験工務店がどれだけ所属しているかわからない

(4)-3 :グループ(事務局)が実施している未経験工務店に対するサポート体制

選択項目			
☒	未経験工務店への優先サポートの実施	☒	営業支援(提案書作成・営業同行)
☒	地域型住宅の補助活用マニュアル(手順書)の用意	☒	事務局による交付申請書類作成支援
☒	各種認定取得サービスの活用提案	☒	事務局による実績報告書類作成支援
☒	施工管理・施工検査のサポート		
☐	その他 内容		

(5) 地域産業・災害等への対応

(5)-1 :地域社会との連携・継承等について

選択項目			
☐	地域の伝統的なデザインの継承を意識している	☐	地域の住まい方の継承を意識して対応する
☒	地域の街並みの継承を意識して対応する	☐	地域型住宅に和の住まいの要素を取り入れた対応を行う

(5)-2 :和の住まいに関連した取組み

選択項目			
☒	和室の提案や畳の活用を義務または推奨している 内容 三世代同居の住宅には子育てしやすい環境づくりの為、畳スペースを推奨します。		
☐	和瓦の活用を義務または推奨している 内容		
☐	襖や障子の活用を義務または推奨している 内容		
☐	地域の伝統的な素材を活用する取組みを行っている 内容		
☐	その他 内容		

(5)-3 :災害発生時・発生後の対応についての取組み

選択項目			
☐	特に取り決めてしていることは無い		
☒	取組みを行っている 内容 全国各地にグループ構成員がいる為、自然災害等が発生し住宅資材や建材の供給、流通が滞った場合は、被災エリア以外での構成員に建材流通を促す事が出来ます。万が一、自然災害等が発生した場合は、事務局・被災エリア以外の構成員による総括的支援を行います。		

(5)-4 :災害発生時の取組み等に対しての国土交通省より情報提供の受け取りに関して

☒	情報提供を受ける	☐	情報提供を受けない
-------------------------------------	----------	--------------------------	-----------

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み> (長寿命型・ゼロ・エネルギー住宅型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通)

補足資料

グループ名称	長く住み続ける住宅を建てやすい会				
R2採択グループ番号	09	-	0280	-	0257

(6) 消費者への広報

(6)-1 グループの消費者への広報

選択記載項目	
☒	グループの取組み等PRポイントについて 当グループは、全国に活動拠点が10箇所あり、補助金申請サポート以外にも設計サポート・確認申請サポート・施工検査・点検サポート等幅広いサポートで、地域型住宅の普及に努めてきました。過去3年の補助金活用実績は、平成30年度104件・令和元年度126件・令和2年度202件と年々増加しています。又、当グループは平成25年度ブランド化事業から事務局を結成しており、これまでの経験を活かし未経験工務店に分かりやすく本事業を活用した供給を促進してきました。その為、未経験工務店の活用実績も平成30年度44件・令和元年度47件・令和2年度71件と増加しています。今後も国の方針に沿った住宅づくりを継続出来るよう、グループ内で情報を共有し受注活動の後押しをなるべく支援していきます。 ※活動拠点：新潟県(3カ所)・青森県・愛知県・東京都・静岡県・富山県・宮崎県・鹿児島県
☒	地域型住宅の性能・アピールポイントについて 長寿命型(長期優良住宅)の場合は、許容応力度計算により耐震等級2以上を確保します。高度省エネ型、ゼロ・エネルギー住宅型の場合は、燃費計算結果の提出を義務化します。住宅の断熱省エネ性能を「エネルギー値(GJ)」や「〇%削減」などの数値だけではなく、「円」で表記することで消費者に月々の金額を分かりやすく提示する事ができます。当グループの供給地域は広域に渡っている為、各地域の住宅情報が集まります。その情報をいかして、地域の特性に適った質の高い木造住宅を促進する事ができます。
☒	地域型住宅における地域材の活用について 地域材(合法木材)の使用割合を、主要構造材(土台・柱・横架材)の最低基準値20%以上にする事で、未経験工務店も取り入れやすく積極的に活用できるようにしています。地域材使用割合に関しては例年20%以上としていますが、令和元年度の地域材使用割合50%以上は126件中114件、使用割合80%以上は126件中85件となっております。全国的に構成員がいる為、把握している供給体制を地域毎にグループ内で共有することが可能です。
☒	引き渡し後の維持管理について 当グループルールとして、全物件において実績報告時に維持保全計画書の提出を義務化し、保管をしています。 人材不足やシステムがなく今まで取り組みがなかった未経験工務店には、事務局独自の住宅履歴情報システムを提案し維持管理の環境づくりのサポートをする事ができます。

(6)-2 :グループの消費者相談窓口

選択項目	
☒	相談窓口等の連絡先がある
☐	TEL
☒	メールアドレス shinsei-support@chuo-g.jp
☐	その他

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み> (ゼロ・エネルギー住宅型)

グループ名称	長く住み続ける住宅を建てやすい会			
R2採択グループ番号	09	-	0280	- 0257

様式5

(1) BELS認証による評価

(1)－1 :提案種別

選択項目			
☒	BELS認証による評価	☐	評価委員会による評価

※ BELS認証による評価を選択したグループは、下記設問に回答ください。
評価委員会とはWEBプログラムで対応できない省エネ手法を個別に評価する方法です。評価委員会による評価のみの場合は、設問(2)のみに回答してください。

(1)－2 :グループとして展開する地域(ゼロエネ住宅の供給予定地域)

選択項目																
☐	1地域	☒	2地域	☒	3地域	☒	4地域	☒	5地域	☒	6地域	☒	7地域	☐	8地域	

(1)－3 :NearlyZEHでの申請

選択項目			
☐	なし	☒	あり

(1)－4 :ゼロエネ住宅の該当事業形態

選択項目					
■	請負	■	請負(太陽光発電のみ分離発注)	■	建売

(1)－5 :ゼロエネルギー住宅の取り組み

A:グループとしてゼロエネ住宅の供給に積極的ですか？

選択項目						
■	はい	□	いいえ	□	どちらとも言えない	

B:ゼロエネ住宅の省エネ性能について、グループで共有する数値目標は設定していますか？

選択項目			
☒	はい	☐	いいえ(要件に適應する住宅を供給する)

C:具体的な設定されている数値目標を記入ください。(設問Bで「はい」と回答いただいた方へ)

回答		
外皮平均熱貫流率(UA値)	0.4	W/㎡・K
☐ この項目の設定なし		
全体のエネルギー削減量(R)	100	%
☐ この項目の設定なし		
太陽光を除くエネルギー削減量(R0)	20	%
☐ この項目の設定なし		

D:交付申請における外皮計算は、どのような方法で行いますか？

選択項目					
■	グループ事務局が実施	■	申請事業者(施工事業者)にて実施	□	外注(外部事業者に依頼)
□	その他				

E:交付申請における一次エネルギー計算は、どのような方法で行いますか？

選択項目					
■	グループ事務局が実施	■	申請事業者(施工事業者)にて実施	□	外注(外部事業者に依頼)
□	その他				

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み> (ゼロ・エネルギー住宅型)

様式5 モデルプラン

グループ名称	長く住み続ける住宅を建てやすい会			
R2採択グループ番号	09	-	0280	- 0257

F:交付申請におけるBELSの申請書作成及び申請は、どのような方法で行いますか？

選択項目				
☒	グループ事務局が実施	☒	申請事業者(施工事業者)にて実施	☐ 外注(外部事業者に依頼)
☐	その他			

(1)-6 :モデルプランによるゼロエネ住宅性能の試算で、モデルプラン計算は、どのような方法で行いましたか？

選択項目				
☒	グループ事務局が実施	☐	外注(外部事業者に依頼)	
☐	その他			

(1)-7:モデルプラン計算結果(必ずモデルプラン計算を1つ以上入力ください)

No	想定する 地域区分 (1～8)	外皮平均 熱貫流率 (UA値)	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					
			全体 R(%)	太陽光発電を除く R0(%)	太陽光発電	太陽光発電 容量 (kW)	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱 利用システム	コージェネレーション	既定の評価に含ま れないもの(記述)
1	2	0.4	100	20	■	5.5				
2	3	0.5	100	20	■	5.5				
3	4	0.6	100	20	■	5.5				
4	5	0.6	100	20	■	5.5				
5	6	0.6	100	20	■	5.5				
6	7	0.6	100	20	■	5.5				
7										
8										
9										
10										

NearlyZEHのモデルプラン計算結果

設問(3).でNearlyZEHモデルプランを選択した場合は、必ず1つ以上入力してください

No	想定する 地域区分 (1～8)	外皮平均 熱貫流率 (UA値)	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					
			全体 R(%)	太陽光発電を除く R0(%)	太陽光発電	太陽光発電 容量 (kW)	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱 利用システム	コージェネレーション	既定の評価に含ま れないもの(記述)
1	2	0.4	80	20	■	4.5				
2	3	0.5	80	20	■	4.5				
3	4	0.6	80	20	■	4.5				
4	5	0.6	80	20	■	4.5				
5	6	0.6	80	20	■	4.5				
6	7	0.6	80	20	■	4.5				
7										
8										
9										
10										

(2) 評価委員会による評価 (評価委員会による評価を選択の場合、ゼロエネ審査室より連絡があります)

(2)-1:導入する省エネ手法をお答えください

選択項目				
☐	空気集熱式太陽熱利用システム	☐	地熱利用	
☐	その他			

(2)-2:現在の運用をお答えください

選択項目				
☐	実際の物件に導入している	☐	実際の物件に導入していない	